

2026 年度 第 6 回サンマ中短期漁況予報(抜粋)

令和 8 年 10 月 30 日

福島県水産海洋研究センター

一般社団法人 漁業情報サービスセンターより、10 月 29 日に「2026 年度第 6 回サンマ中短期漁況予報」が発表されましたので、概要をお知らせします。

1. 今後の見通し

予測期間：2026 年 11 月上旬～12 月中旬

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象魚群：南下回遊群

(1) 来遊量

道東海域

11 月上旬は低位水準で減少。

11 月中旬は断続的となり、終漁。

三陸海域

11 月上旬～12 月上旬は低位水準で推移。

12 月中旬は断続的。

常磐海域

11 月中旬～12 月中旬は断続的。

(2) 漁場

道東海域 11 月上旬は襟裳岬沖。

三陸海域 11 月上旬～11 月中旬は三陸北部～南部。

11 月下旬～12 月上旬は三陸南部。

常磐海域 11 月中旬～12 月中旬は常磐北部。

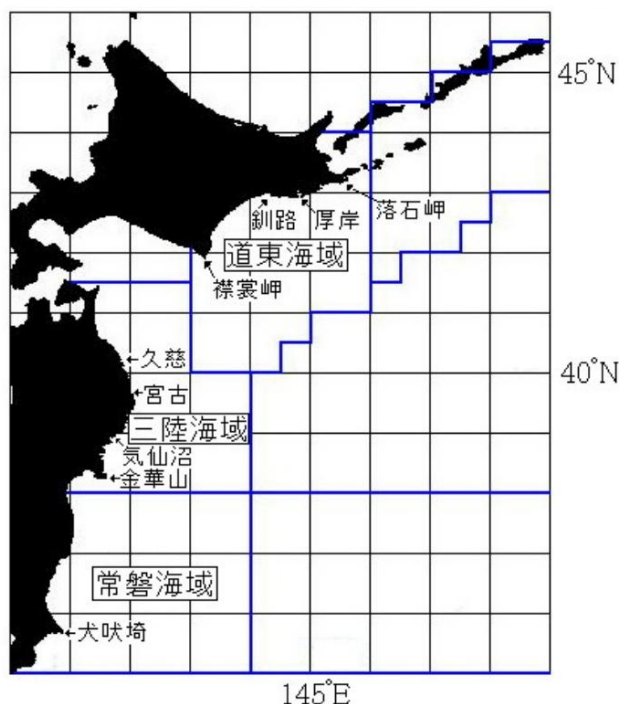


図 1 海域の名称

2. 漁況経過概要 (10 月上旬)

(1) 来遊量

道東海域と三陸海域ともに 10 月上旬よりやや増加したものの、前年を下回り低位水準。

(2) 漁場

道東海域では落石沖と襟裳岬沖に形成され、落石南南東沖 70 海里での大型船の漁獲量は平均 1.4 トン、最高 4 トン。襟裳岬南沖 80 海里での大型船の漁獲量は平均 0.2 トン、最高 0.5 トン。主漁場は道東海域より南東側の公海であり、大型船の漁獲量は平均 2.5 トン、最高 13 トン。

三陸海域では久慈沖と大船渡沖に形成され、久慈東南東沖 30 海里での大型船の漁獲量は平均 0.8 トン、最高 1.7 トン。大船渡東沖 80 海里での大型船の漁獲量は 0.5 トン。

(3) 魚体

道東海域より南東側の公海では、体長 24～30cm、体重 50～110g が主体。

※詳細については下記の HP をご参照ください(一般社団法人 漁業情報サービスセンター プレスリリース)。

<https://www.jafic.or.jp/information/2026/10/29/post-5/>